

環境経営レポート

2024 年度

エコアクション 21

[対象活動期間 2024 年 1 月～2024 年 12 月]



発行日 2024 年 5 月 16 日

エフワイ成型株式会社

目次

1.環境方針	1P
2.会社概要	2P
3.エコアクション 21 社内組織図	3P
4.環境目標	4P
5.運用年次・環境活動計画	5P
6.取組み結果とその評価、次年度の取組内容	6P
7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	7P
8.代表者による全体の評価と見直しの結果	7P

1.環境方針

基本理念

エフワイ成型株式会社は、改善活動を通じて環境に優しい物造りに取組み、環境への負荷低減や地域社会への貢献に努めます。

環境汚染の予防と環境保全の継続的改善により、地球温暖化の防止と循環型社会の形成を目指します。

基本方針

- 1、環境関連の法規および当社が同意するその他の合意事項を順守します。
- 2、電力や化石燃料の削減に取組み地球温暖化ガスの排出を削減します。
- 3、廃棄物や OA 用紙の削減・再使用・リサイクルを推進し廃棄物を削減します。
- 4、節水に取組み総排水量を削減します。
- 5、環境目標を設定し、定期的な見直しをする事により、維持、改善をはかります。
- 6、環境方針を作成し全社員に周知するとともに、環境経営レポートを作成し広く継続、開示します。

制定日 2009年 6月 1日

改訂日 2019年 6月 25日

エフワイ成型 株式会社

代表取締役 福田 光代

2.会社概要

1) 組織の概要

「社名」 エフワイ成型株式会社
「代表者」 福田 光代
「資本金」 20,000 千円
「所在地」 本社工場 〒470-1101 愛知県豊明市沓掛町岩金 36-1

「担当者」 環境管理責任者 専務取締役 田口 義和
TEL 0562-95-1216 FAX 0562-95-1218

E-mail:efuwai@abelia.ocn.ne.jp

「売上高」 551 百万円 (2024 年度売上)
「会社規模」 従業員数 33 名 (2024 年 4 月現在)
「事業内容」 プラスチック製品の製造及び販売
「延床面積」 本社工場 2116 m²

<沿革>

- ・昭和 36 年 6 月 福田成型として創業開始
- ・昭和 41 年 5 月 エフワイ成型株式会社を設立
- ・平成 3 年 3 月 豊明市新田町大割に本社工場移転
- ・平成 5 年 1 月 第 2 工場組立検査出荷部門完成
- ・平成 8 年 10 月 社長福田信市死去につき福田光代就任
- ・平成 23 年 3 月 豊明市沓掛町に本社工場移転

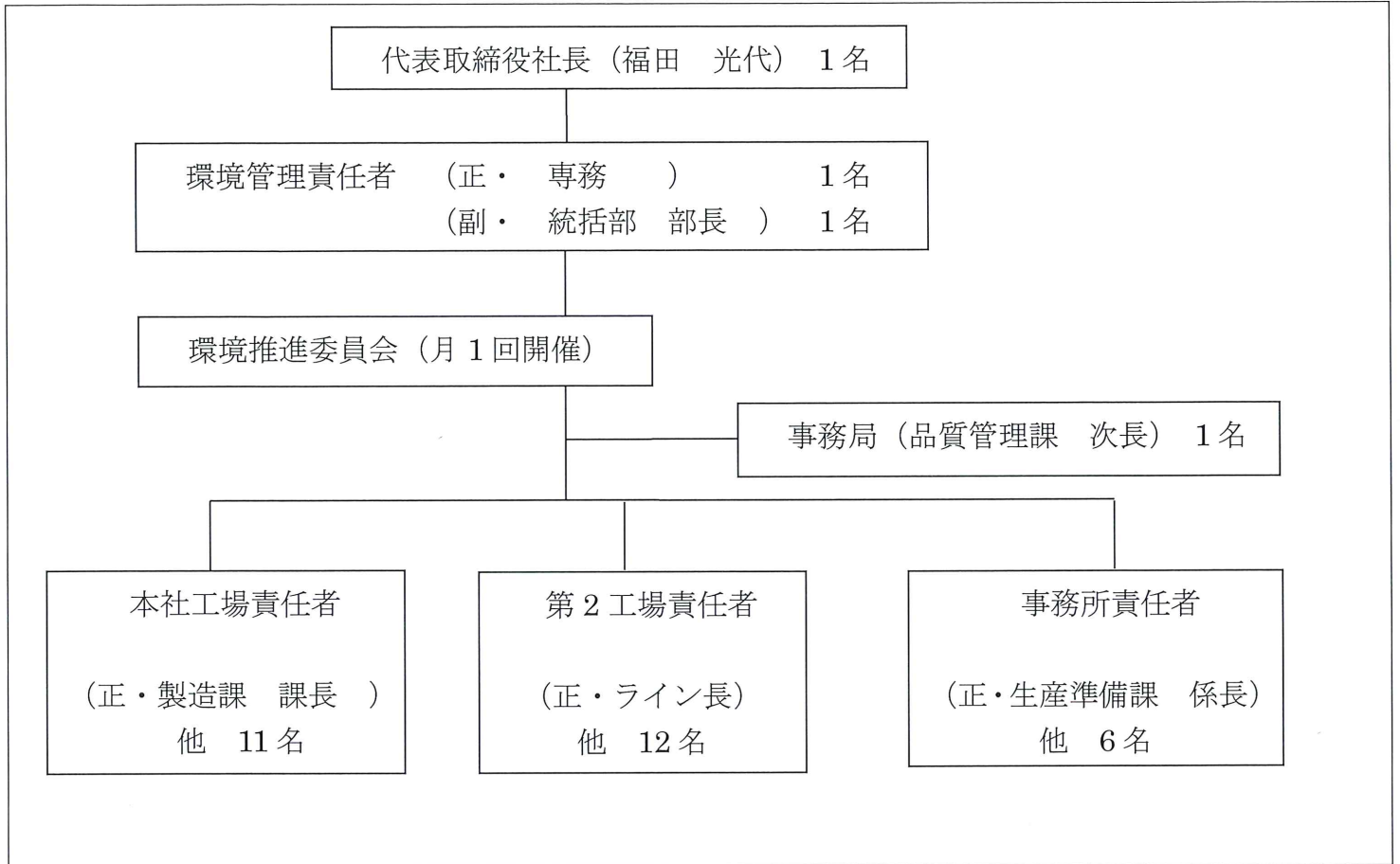
2)、対象範囲

- ①サイト 本社工場：〒470-1101 愛知県豊明市 沓掛町岩金 36-1
- ② 事業内容 プラスチック製品の製造及び販売
- ③ 対象人員 全従業員
- ④ 環境活動レポートの対象範囲

この環境経営レポートの対象範囲は、2024 年 1 月 1 日～12 月 31 日です。
次回環境経営レポートの作成月は、2026 年 3 月ごろとします。

3.エコアクション 21 社内組織図

2024年12月10日



3-1 推進体制

役 職	役割・責任・権限
代表取締役社長	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理システムの総責任者 環境方針を定める 環境管理責任者を任命 資源（人員・設備・費用）の準備 全体の取組状況の評価と見直し
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 教育の実施 実施状況の確認 環境活動の取組結果を代表者に報告 環境経営レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 文書の作成管理 システム運用上の事務管理 環境活動計画実施の実績集計 環境経営レポートの作成
各責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境目標達成するための活動の推進、提案
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4.環境目標

I 基準数値 基準数値=3か年の平均数値 [基準対象は2020年～2022年です] * 2023年度より目標値を再設定

	3か年平均値	単位	基準数値
電力使用量	634,675	kWh/年	1,241kWh/百万円
ガソリン使用量	4,392	ℓ/年	4,392
二酸化炭素排出量	292.196	kg-CO2	292.196
廃棄物排出量	10,186	Kg/年	10,186
水使用量	462	m ³ /年	462
グリーン購入	27	件	27

*原単位に用いた売上 502百万円

II 環境目標の設定

(基準年度に対する改善・通減率/グリーン購入は増加率を示す)

項目	単位	基準数値	年次別目標		
			第14年次 [2023] 1月～12月	第15年次 [2024] 1月～12月	第16年次 [2025] 1月～12月
電力使用量の削減	kWh/百万円	1,241	1,229 (1%)	1,216 (2%)	1,203 (3%)
	kg-CO2/百万円	569.619	564.111(1%)	558.226 (2%)	552.177(3%)
ガソリンの使用量	ℓ	4,392	4,348 (1%)	4,304 (2%)	4,260 (3%)
	kg-CO2	10,308	10,204 (1%)	10,110 (2%)	9,998 (3%)
二酸化炭素の排出量	kg-CO2	292.196	289.238 (1%)	286.352 (2%)	283.430 (3%)
廃棄物排出量の削減	kg	10,186	10,084 (1%)	9,982 (2%)	9,880 (3%)
水の使用量の削減	m ³	462	457 (1%)	452 (2%)	448 (3%)
グリーン購入	件	27	30 (+10%)	33 (+20%)	36 (+30%)
不良率の低減			毎年、不良率削減につとめる。目標値0.001%以下を目指す		

*当社は化学物質については、SDSにて調査し、該当はありませんでした。

*二酸化炭素係数は、0.459kg-CO2を使用しています。

*二酸化炭素係数0.459kg-CO2は中部電力2022年度の調整後排出実績を引用

5.運用年次・環境活動計画(2024年1月～12月)と実績 ○・目標達成/計画実施、×・目標未達/計画未実施

取組実施内容	単位	目標	実績	達成率	評価
電力使用量を基準値の 2%削減	kWh/百万円	1,216	1,126	7.41%減	○
	kg-CO ₂ /百万円	558.226	516.834	7.41%減	○
省エネルギー管理					
◆1.毎月の電気使用量の把握		○	○	○	○
◆2.照明・冷暖房時間、場所の管理		○	○	○	○
◆3.冷暖房設定温度の管理 (夏季 28度前後 冬季 20度前後)		○	○	○	○
◆4.空調設備点検(フィルター清掃)		○	○	○	○
◆5.適正在庫の把握に伴う、過剰成形の禁止		○	○	○	○
ガソリン使用量を基準値の 2%削減	ℓ	4,304	4,989	13.74%増	×
	kg-CO ₂	10,110	11,714	13.74%増	×
化石燃料使用量の削減					
◆1.毎月のガソリン使用量の把握		○	○	○	○
◆2.エコドライブの実施		○	○	○	○
◆3.タイヤ空気圧等の車両点検		○	○	○	○
二酸化炭素排出量を基準値 の2%削減	kg-CO ₂	286,352	280,740	○	○
産業廃棄物排出量を基準値の 2%削減	kg	9,982	10,670	6.45%増	×
廃棄物排出量の削減と資源化					
◆1.毎月の廃棄物量の把握		○	○	○	○
◆2.廃棄物の資源化率の維持		○	○	○	○
◆3.廃棄物の分別の徹底		○	○	○	○
水使用量を基準値の 2%削減	m ³	452	537	15.83%増	×
水資源の効率的活用					
◆1.毎月の水道使用量の把握		○	○	○	○
◆2.節水意識の高揚(掲示)		○	○	○	○
◆3.節水コマ等の設置		○	○	○	○
グリーン購入品を基準値の 20%増幅	件	33	25	24.25%減	×
グリーン購入品の増幅					
◆1.グリーン文房具を積極的に購入する		○	○	○	○
不良率の低減	率	0.0010%	0.0006%	○	○
◆1.不良原因の把握と対策		○	○	○	○

6.取組結果とその評価、次年度の取組内容

○電気使用量の削減

実績1,126Wh/百万円、516,834 kg-CO2/百万円と目標に対し7.41%削減。

今年度は過剰な生産を控え、適正な在庫を目指した事によって機械の稼働が制限できました。それにより電気の消費電力が抑える事ができました。

次年度の取組

『目標値を減少させる事が出来た為、これまでの活動を維持、継続します』

○ガソリン使用量の削減

実績4,989ℓ、11,714kg-CO2と目標に対し685ℓの増加、目標に対し13.74%の増加。

新規取引先が増えた事と取引先の移転などが要因と考えられます。

次年度の取組

『目標値に対し使用量が増加した為、エコドライブや車内温度の見直しをかけ遵守させていきます』

○産業廃棄物排出量の削減

実績10,670kgで目標に対し9,982kgの増加、目標に対し6.45%増加しました。

次年度の取組

『目標値に対し排出量が増加した為、着ペレや再ペレなど資源の再利用を増やす事を社内で義務つけます』

○水使用量の削減

実績537m³で目標に対し85m³の削減、目標に対し15.83%増加しました。

2024年度から社用車を自社で洗車している事とが要因と考えられます。

次年度の取組

『節水意識を高める為に、掲示物を増やし減少につとめます』

○グリーン購入

実績25件で目標に対し8件の減少、目標に対し24.25%減となりました。

目標に達成できなかつたので、来年度は積極的なグリーン製品購入を社内で意識つけます。

次年度の取組

『社内にグリーン製品の購入意識を浸透させ、さらなる購入件数UPにつとめる』

○不良率の低減

2023年が0.0007%、2024年が0.0006%と低い水準を保っています。

次年度の取組

『低い不良率を維持出来た為、これまでの取り組みを維持、継続します』

7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び

評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| ・ 県民の生活環境の保全等に関する条例 | 「騒音」「振動」「自動車の使用」 |
| ・ フロン排出抑制法 | 「業務用エアコン」「コンプレッサードライヤー」 |
| ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 | 「廃棄物」 |
| ・ 家電リサイクル法 | 「家庭用家電」 |
| ・ 資源の有効な利用の促進に関する法律 | 「パソコン等」 |
| ・ 浄化槽法 | 「保守・点検・清掃・法定検査」 |
| ・ 豊明市との公害防止協定 | 「測定監視：騒音・振動・水質」 |

環境関連法規への違反がない事を自ら確認し、違反はありませんでした。

弊社における関係各機関からの違反の指摘・訴訟又は近隣からの苦情は

過去3年間ありません。

確認日 2025年1月17日

8. 代表者による全体の評価と見直し結果

総合評価・・・年間の取組により、目標は達成できました。

又、環境関連法規等も遵守している事を確認しました。

従って環境方針、環境目標、環境活動は変更せず

今後も継続して達成できるよう活動を展開していきます。

確認日 2025年1月17日